
平成28年度

健やか力検定 講評

全体で青森市内の5大学より106名がこの検定に参加されました。概要をお知らせします。

1. 「健やか力の知識」では、6割以上正解だった合格者は98名、92%と高い割合でした。

個別問題の正答率は別途示していますが、**50%以下の正答率**の問題につき解説します

問4 (正答率49%)

寿命や死亡率の定義の問題です。「誤っている」のは3です。死亡率は住民全体の集団を分母に算定します。問題文は「致命率」ないし「致死率」の説明となっていて、間違いです。

問12 (正答率23%)

禁煙外来の治療プログラムの問題です。標準的には12週で5回通うこととなります。未経験ということからすると、あまりにも難問でした。

問14 (正答率39%)

タバコと関係の深い物質は一酸化炭素で、二酸化炭素ではありません。一見ひっかけの様ですが、どちらも生体とは深い関係がありますので、十分な知識が必要と考えられます。

2. 「健やか力の評価」については、全体の平均点は11.12(5~25点中)でした。得点が低いほど自己評価が高いことになり、すべてを平均的と考える場合は計15点となりますので、全体として高い自己評価だったこととなります。ちなみに、「健やか力の知識」とは相関(“自己評価が高い人ほど、知識がある”など)は認められませんでした。